

科目区分	専門分野 I	科目名	共通基本技術Ⅲ (看護過程の展開)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	細谷 ゆかり(臨床経験24年、教育経験13年)				
科目目標	1. 看護概念を実践に適用するためのプロセスを学び、科学的思考に基づいた看護過程の基礎的知識・技術を学ぶ。 2. 看護としての問題解決思考を理解できる。				
授業概要	1. 看護過程の概要 1) 看護過程とは何か 2) 看護過程の構成要素 3) 看護過程の構成要素の相互関係 4) 看護過程の基盤となる考え方 2. 情報の整理 1) 情報収集とは 2) 情報収集の方法 3. アセスメントの枠組み 1) アセスメントとは何か 2) 情報の整理・解釈・分析 3) ゴードンの機能的健康パターンとクラスタリング 4. 看護問題の明確化 1) 看護診断の種類 2) 共同問題とは 3) 看護診断の優先順位の設定 4) 看護診断の記述(ハンドブックの活用) 5. 看護問題の統合・関連図 1) 看護問題の統合とは 2) 関連図とは 3) 関連図の書き方 6. 看護計画 1) 看護計画とは 2) 標準看護計画とは 3) 医療計画とクリニカルパス 4) 期待される成果の設定(RUMBAの法則・成果の3つの領域) 5) 看護計画の書き方 7. 実施・記録・評価 1) 看護計画の実施の流れ 2) 看護記録の意義 3) 看護記録の必要性和種類 4) 経過記録とは 5) SOAPとは 6) 経過記録の書き方 7) 評価とは 8) 評価の方法 9) 報告の必要性和方法 8. 事例患者を用いた看護過程演習 9. まとめ・試験				
看護師国家試験出題基準	情報の種類・収集方法、情報の分析・統合 看護問題の明確化と優先順位決定 看護目標の設定と計画 実施 評価				
授業の進め方	形態と機能、疾病・治療論、看護理論の既習学習を十分に活用して学ぶ。 看護過程のプロセスとして、基礎的知識を中心に学ぶ。 NANDA看護診断ブックを活用して解釈分析学習ができる。				
履修のポイント・留意事項	事例展開での学習は、臨地実習につなげられるように既習学習での知識を活用し、各段階の思考についてより理解を深める。				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I 医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 スーヴェルヒロカワ NANDA看護診断 定義と分類2015-2017 医学書院 患者さんの情報収集ガイドブック メヂカルフレンド社 系統別 観察・アセスメントガイド～病態関連図が書ける！～(改訂版) 照林社 ※参考図書 江川隆子のかみくだけ看護診断, 日総研				
評価方法・配点	出席状況と基礎的学習内容については、筆記試験で評価する。 各段階における思考については、レポート提出により評価する。 終了試験(50点) 演習(50点)				